

令和 7 年度入試 外国語試験

リハビリテーション科学学位プログラム 博士後期課程

| 区分 | |
|------|---|
| 出題意図 | <p>問題 1</p> <p>以下の文章は、World Health Organization が 2020 年に報告した Handbook for Age-Friendly Communities に掲載されたものである。次の 1~5 の文章に最も適切なタイトルを下記の選択肢より一つずつ選択して解答しなさい。</p> <p>問題 2</p> <p>次の文章は、国連 Sustainable Development Goals の HP にある 17 の世界を変革するゴールのうち、Quality Education に関する記述である。この文章を読んで、(1) (2) に日本語で答えなさい。</p> <p>(この部分は著作権の都合上、公開できません)</p> <p>(1) 下線部①の「残された課題」で述べていることについて、5 行程度でまとめなさい。</p> <p>(2) 下線部②「<u>What can we do?</u>」で、4 つの課題・現状分析が述べられている。このうち、我が国で特に課題と考えられることおよびその理由について、10 行程度で述べなさい。</p> |
| | <p>外国語試験では、英語としてリハビリテーション科学に関する問題を出題することとなっている。</p> <p>問題 1 :</p> <p>本問題は、WHO の「Handbook for Age-Friendly Communities」を題材に、リハビリテーションの対象となる高齢者の特性と環境整備に関する専門的英文を正確に読み解く力を問うものである。リハビリテーション専門職に必要な語彙力と論理的照合能力を評価する。各説明文の内容を把握できるか、その内容を示す語句の知識があるか、説明文の内容と語句とを整合できるかを判断</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>する。</p> <p>問題2：</p> <p>本問題は、国際的課題である SDGs の「質の高い教育」に関する記述を題材に、グローバルな課題認識を日本語で再構成し、自国の現状へ応用する思考力を問うものである。</p> <p>(1) 文章中に示された「残された課題」を英文から的確に抽出し、簡潔にまとめる要約能力を判断する。</p> <p>(2) 提示された 4 つの課題の英文の内容を理解した上で、日本のリハビリテーションや教育現場における喫緊の課題を特定し、その背景を多角的に論述できる実践的分析力を評価する。</p> |
|--|---|